

地域防災力の向上を支援

◎松山地方気象台長来庁

熊原台長(写真右)と兵頭町長(写真左)



現在、愛媛県の地域防災力の向上を支援するため、県内20市町を訪問し、信頼関係の構築を図っている松山地方気象台。その一環として、5月17日、松山地方気象台の熊原義正台長が、兵頭誠亀町長を表敬訪問しました。

熊原台長は、兵頭町長に対し、ホットライン(緊急連絡用の直通通信回線)の確認や、防災情報の活用、また、大規模災害が発生した場合に、気象庁防災支援チームを町に派遣するなど、松山地方気象台が取り組んでいる地域の防災支援策について説明。地域防災力の向上を図るため、意見交換を行いました。

アユの赤ちゃん、大きくなってね～

◎アユの稚魚放流事業

アユの稚魚を放流する園児たち



5月17日、広見川漁業協同組合が毎年実施している「アユの稚魚放流事業」が行われ、広見川や支流など約10カ所に、アユの稚魚約4万匹が放流されました。

今年の近永地区の放流では、川に興味を持ってもらおうと、約20年ぶりに町内の園児を招待。奈良川河川敷では、さくら保育所と近永保育所の園児25人が放流に参加しました。

この日放流されたアユは体長約10センチメートルの稚魚。園児たちは「大きくなってね」と元気いっぱいの声を響かせながら、笑顔で稚魚を見送っていました。

会場に並んだ色とりどりのさつき

◎第46回日吉さつきまつり

じっくりとさつきを見て回る来場者



日吉盆栽会(会長・森下茂)が主催する「第46回日吉さつきまつり」が、5月26日・27日の2日間、道の駅日吉夢産地で開催されました。

会場には、会員らが丹精込めて育て上げた色鮮やかな約80鉢のさつきを展示。それぞれ色も形も異なる個性豊かなさつきを一目見ようと、多くの来場者が訪れました。訪れた人たちは、その艶やかさに魅了されながら、一つ一つじっくりと見て回っていました。

また、会場内では苗木の販売も行われ、会員らは上手に育てるためのコツや剪定方法などを、購入者に伝授していました。

長年にわたる功績が認められ…

◎旭日双光章受章

賞状を掲げる山本さん



5月18日、長年にわたり日吉村行政の推進と発展のために尽力された功績が認められ、このたび山本雅之さん「下鍵山」が旭日双光章を受章されました。

山本さんは昭和24年に日吉村に奉職。その後、高い政治信念を持って、日吉村収入役、助役、そして村長を歴任し、地域住民の福祉の向上と地方行政の推進に多大な貢献を果たしました。

この日は、佐伯登志男南予地方局長が表彰状と勲章を贈呈。山本さんは「この章に恥じないように、これからも邁進していきたい」と、決意を新たにしていました。